

2020年11月16日

各位

会社名 北海道歯科産業株式会社
(コード番号 7693 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 山田 哲哉
問合せ先 取締役管理本部長 神谷 康弘
TEL 011-813-5556
URL <https://hokusan-kk.co.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

北海道歯科産業株式会社(以下、「当社」)は、本日 2020年11月16日に東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2021年3月期(2020年3月21日から2021年3月20日まで)における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

| 項目 | 決算期 | 2021年3月期 | | 2020年3月期 | | |
|------------|-----|----------|--------|----------|--------|-------|
| | | 構成比 | 対前期増減比 | | 構成比 | |
| 売上高 | | 4,689 | 100.0 | 1.7 | 4,611 | 100.0 |
| 営業利益 | | 45 | 1.0 | 55.5 | 29 | 0.6 |
| 経常利益 | | 45 | 1.0 | 7.6 | 42 | 0.9 |
| 当期純利益 | | 30 | 0.6 | — | △7 | — |
| 1株当たり当期純利益 | | 6.30円 | | | △1.60円 | |
| 1株当たり配当金 | | — | | | 0.25円 | |

(注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(2021年3月期については予定)により算出しております。

【2021年3月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

当社の今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が収束する気配も見えず、ヨーロッパ諸国、アメリカなど諸外国においては今まで以上に感染が拡大しており、日本国内においても第三波の感染拡大が始まっていることから、国内経済においても更に悪化することが予想されます。

当社は顧客である歯科医院、歯科技工所等に対して、新型コロナウイルス対策に関連する各種助成金や補助金事業の利用等により、感染症拡大防止対策を中心に積極的な設備投資を推奨し、患者様が安心して通院できる歯科医院づくりをサポートすることで、歯科受診者の増加を図っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する可能性が高く先行き不透明な状況になっております。

このような状況のもと、当社は歯科医療関係者として、従来の対面による営業活動の在り方を見直しながら、お客様の真のニーズにお応えできる営業体制・物流体制の確立に取り組み、感染拡大の防止に努めております。前期実績を参考にし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による経済活動の自粛・制限が発生した場合など、現時点において当社が把握している情報をもとに業績予想を算出しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が将来にわたって経済にもたらす影響は不確実性が高く、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(2) 業績予想の前提条件

① 売上高

新型コロナウイルス感染症拡大による当社事業への影響は比較的少ないと考えておりますが、更なる感染拡大が続く中での、感染対策用品であるマスク、グローブ、手指消毒剤等の仕入に影響が生じる可能性があります。しかしながら、当社といたしましては、綿密な情報収集と仕入先からの在庫状況を確認しつつ、販売商品の確保に努めることで、今後も順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、売上高は 4,689 百万円（前期比 1.7%増）と予想しております。

② 売上原価・売上総利益

売上原価は、過去の実績値に基づいて見積もっております。また、売上高の変動要因を考慮しております。

この結果、売上総利益は 671 百万円（前年比 4.3%増）と予想しております。

③ 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、過去の実績に基づき、上場関連費用についても考慮し見積もっております。

この結果、営業利益は 45 百万円（前年比 55.5%増）と予想しております。

④ 営業外損益、経常利益

営業外損益は、過去の実績に基づき見積もっております。

この結果、経常利益は 45 百万円（前年比 7.6%増）と予想しております。

⑤ 特別損益、当期純利益

特別損益に関しましては該当事項が無いため想定しておりません。

当期純利益は、法人税等を考慮して、30 百万円（前期実績△7 百万円）を予想しております。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容(事業計画に関する事業目標も含まれますがそれに限られません。)は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の 変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

2021年3月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月16日

上場会社名 北海道歯科産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7693

URL <https://www.hokusan-kk.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 山田 哲哉

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 神谷 康弘 TEL 011-813-5556

中間発行情報提出予定日 2020年12月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期中間期の業績（2020年3月21日～2020年9月20日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期中間期 | 2,225 | — | 2 | — | 4 | — | 1 | — |
| 2020年3月期中間期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 |
|-------------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期中間期 | 0.29 | — |
| 2020年3月期中間期 | — | — |

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2021年3月期中間期より中間財務諸表を作成しているため、2020年3月期中間期の数値及び対前年同期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期中間期 | 1,248 | 560 | 44.9 | 116.82 |
| 2020年3月期 | 1,242 | 560 | 45.1 | 116.78 |

（参考）自己資本 2021年3月期中間期 560百万円 2020年3月期 560百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|-------|---|----|----|------|
| | 中間 | | 期末 | | 合計 |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | — | 0 | 25 | 0 25 |
| 2021年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

（注）期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 2021年3月期の業績予想（2020年3月21日～2021年3月20日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|-----|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,689 | 1.7 | 45 | 55.5 | 45 | 7.6 | 30 | — | 6.30 |

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期中間期 | 4,800,000株 | 2020年3月期 | 4,800,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期中間期 | 一株 | 2020年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2021年3月期中間期 | 4,800,000株 | 2020年3月期 | 4,800,000株 |

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | |
| （1）経営成績に関する説明 | 2 |
| （2）財政状態に関する説明 | 2 |
| （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間財務諸表及び主な注記 | |
| （1）中間貸借対照表 | 4 |
| （2）中間損益計算書 | 6 |
| （3）中間財務諸表に関する注記 | 7 |
| （継続企業の前提に関する注記） | 7 |
| （株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） | 7 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善基調にありましたが、2019年10月の消費税増税後の個人消費の減少が続くなか、不安定な国際情勢による国内景気への影響懸念、更に世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症は、国内外の経済活動停滞の長期化を招き、先行き不透明な状況にあります。

このような経済状況の中、歯科業界におきましては、新型コロナウイルス感染予防の観点から来院患者が減少し、4月から6月までの歯科医療費の伸びが前年同月比△10.2%になるなど大きな影響がありました。当社が販売しております医療用マスク、グローブ、手指消毒剤等も、医療資材の生産の多くを依存している中国や東南アジア諸国での生産が中止されたため、歯科医院への納入が滞る状況が続きました。現在では流通は平常に戻りつつありますが、新型コロナウイルス感染拡大は歯科業界へも経済的影響を与えています。

当社におきましては、新型コロナウイルス感染拡大が国内に広まった時期において、感染拡大防止のため訪問営業を自粛し、社員を在宅勤務させ電話による営業活動を実施、緊急時の器械修理に関してのみ訪問対応をいたしました。その間、歯科用ユニット、レントゲン機器等の販売は低迷いたしました。緊急事態宣言解除後は、厚生労働省による「新型コロナウイルス感染拡大防止等の支援事業（2020年4月1日から2021年3月31日までの感染予防対策費用が対象）」なども始まり、当社も歯科医院に対し感染拡大防止に必要な歯科医療器械の購入を促し、販売に注力いたしました。

併せて、感染予防対策に必要なマスク、グローブ、フェイスシールド等の資材確保に努め、営業活動を実施したほか、コロナ禍により中止を余儀なくされた各種セミナー、歯科医療器械や歯科材料の展示会（全国各地で開催されるデンタルショー等）に代わって、Webを利用したオンデマンド型のセミナーやWebデンタルショーの開催に注力するなど、歯科医療器械や歯科材料の最新情報を非対面にて発信してまいりました。

このような環境のもと、当社の当中間会計期間末における売上高は2,225,963千円、営業利益2,869千円、経常利益は4,945千円、中間純利益は1,409千円となりました。

なお、当中間会計期間より中間財務諸表を作成しているため、前年同期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末における、資産、負債および純資産の状況は、次の通りであります。

(資産の部)

当中間会計期間末における総資産の残高は1,248,354千円（前事業年度末比5,714千円増加）となりました。流動資産は928,185千円（前事業年度末比43,706千円減少）となり、これは主に現金及び預金が121,626千円減少及び、売掛金が51,807千円増加したことによるものです。固定資産は320,168千円（前事業年度末比49,421千円増加）となりました。これは主にソフトウェア仮勘定が50,956千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当中間会計期間末における負債の残高は687,618千円（前事業年度末比5,504千円減少）となりました。流動負債は497,862千円（前事業年度末比14,841千円増加）となり、これは主に買掛金が20,449千円増加したことによるものです。固定負債は189,755千円（前事業年度末比9,336千円減少）となり、これは主に社債が5,000千円減少、長期借入金が5,000千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当中間会計期間末における純資産の残高は560,735千円（前事業年度末比209千円増加）となりました。これは中間純利益の計上1,409千円及び配当金の支払1,200千円により利益剰余金が209千円増加したことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が収束する気配も見えず、引き続き不透明な状況が続くと予想されます。

歯科業界においても各種助成金や補助金事業の利用等により、感染拡大対策を中心に積極的な設備投資を推奨し、患者さんが安心して通院できる歯科医院づくりをサポートすることで、歯科受診者の増加を図り、併せて営業活動の在り方を見直し、お客様の真のニーズにお応えできる営業体制・物流体制の確立に取り組んでまいります。

また、人材の確保、営業力強化のための教育体制を整備すると共に、労働環境の整備を進めながら、経営の効率化と盤石な経営基盤構築に努めてまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高 4,689 百万円（前期比 1.7%増）、営業利益 45 百万円（前期比 55.5%増）、経常利益 45 百万円（前期比 7.6%増）、当期純利益 30 百万円（前期末実績△7,662 千円）としております。

（注）業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年3月20日) | 当中間会計期間 (2020年9月20日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 391,322 | 269,695 |
| 受取手形 | 544 | 658 |
| 売掛金 | 447,901 | 499,708 |
| 商品 | 104,193 | 134,491 |
| 貯蔵品 | 1,582 | 1,034 |
| 前払費用 | 10,664 | 22,235 |
| 未収還付法人税等 | 8,285 | — |
| その他 | 12,307 | 863 |
| 貸倒引当金 | △4,908 | △502 |
| 流動資産合計 | 971,892 | 928,185 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 65,873 | 64,483 |
| 車両運搬具(純額) | 2,540 | 2,116 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 8,183 | 8,077 |
| 土地 | 73,347 | 73,347 |
| リース資産(純額) | 11,089 | 9,510 |
| 有形固定資産合計 | 161,034 | 157,535 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,235 | 3,705 |
| ソフトウェア仮勘定 | 36,916 | 87,872 |
| その他 | 503 | — |
| 無形固定資産合計 | 41,654 | 91,577 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 11,133 | 11,133 |
| 保証金 | 28,685 | 28,655 |
| 保険積立金 | 15,177 | 20,236 |
| 長期前払費用 | 264 | 658 |
| 繰延税金資産固定 | 10,234 | 7,816 |
| その他 | 2,563 | 2,554 |
| 投資その他の資産合計 | 68,058 | 71,055 |
| 固定資産合計 | 270,747 | 320,168 |
| 資産合計 | 1,242,639 | 1,248,354 |

（単位：千円）

| | 前事業年度 (2020年3月20日) | 当中間会計期間 (2020年9月20日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 383,603 | 404,053 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 10,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,000 | 10,000 |
| 未払金 | 36,460 | 33,519 |
| 未払費用 | 6,397 | 8,317 |
| 未払法人税等 | 542 | 542 |
| 未払消費税等 | 6,843 | 9,971 |
| 前受金 | 6,928 | — |
| 賞与引当金 | 12,283 | 12,377 |
| その他 | 6,258 | 9,081 |
| 流動負債合計 | 483,021 | 497,862 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 140,000 | 135,000 |
| 長期借入金 | 35,000 | 30,000 |
| 長期リース債務 | 9,721 | 8,192 |
| 退職給付引当金 | 14,370 | 16,563 |
| 固定負債合計 | 199,092 | 189,755 |
| 負債合計 | 682,113 | 687,618 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 24,000 | 24,000 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 8,000 | 8,000 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 199,000 | 199,000 |
| 繰越利益剰余金 | 329,525 | 329,735 |
| 利益剰余金合計 | 536,525 | 536,735 |
| 株主資本合計 | 560,525 | 560,735 |
| 純資産合計 | 560,525 | 560,735 |
| 負債純資産合計 | 1,242,639 | 1,248,354 |

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

| | 当中間会計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 2,225,963 |
| 売上原価 | |
| 商品期首棚卸高 | 104,193 |
| 当期商品仕入高 | 1,959,775 |
| 合計 | 2,063,968 |
| 商品期末棚卸高 | 135,659 |
| 売上原価合計 | 1,928,308 |
| 売上総利益 | 297,654 |
| 販売費及び一般管理費 | 294,784 |
| 営業利益 | 2,869 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 11 |
| 受取配当金 | 348 |
| 受取手数料 | 1,258 |
| その他 | 1,006 |
| 営業外収益合計 | 2,623 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 177 |
| 社債利息 | 370 |
| 営業外費用合計 | 548 |
| 経常利益 | 4,945 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 503 |
| 特別損失合計 | 503 |
| 税引前中間純利益 | 4,441 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 614 |
| 法人税等調整額 | 2,417 |
| 法人税等合計 | 3,032 |
| 中間純利益 | 1,409 |

（3）財務諸表に関する注記

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。